

2015年2月21日(土)
東海大学 高輪キャンパス4号館4102教室

第5回 技術士制度・試験講習会

技術士制度・試験の紹介

丸下 元治（技術士(原子力・放射線部門)）



発表内容

1. 技術士制度の概要

1.1 技術士制度の主旨

1.2 技術士の定義

1.3 技術士への経路

2. 技術士試験の概要

2.1 試験日程

2.2 第1次試験

2.3 第2次試験(総合技術監理除く)

2.4 試験合否判定基準

3. まとめ(感想)



1.1 技術士制度の主旨

技術士制度は、「科学技術に関する技術的専門知識と高等の応用能力及び豊富な実務経験を有し、公益を確保するため、高い技術者倫理を備えた、優れた技術者の育成」を図るための**国による技術者の資格認定制度**です。

技術士は、技術士法(以下「法」という。)に基づいて行われる国家試験(技術士第二次試験)に合格し、登録した人だけに与えられる**名称独占の資格**です。

即ち、技術士は、国によって認められた優れた技術者であり、科学技術の応用面に携わる技術者にとって最も権威のある国家資格です。

国からも、多くの技術者・学生が技術士を目指すことを期待されています。

引用)日本技術士会「技術士試験 受験のすすめ」(平成26年3月)

http://www.engineer.or.jp/c_topics/001/attached/attach_1680_3.pdf

1.2 技術士の定義

(1) 技術士の定義

技術士とは、「技術士の名称を用いて、科学技術に関する高等の専門的応用能力を必要とする事項についての計画、研究、設計、分析、試験、評価又はこれらに関する指導の業務を行う者」です。

業務経歴票の業務にはこの業務を記載する。

(2) 技術士補の定義

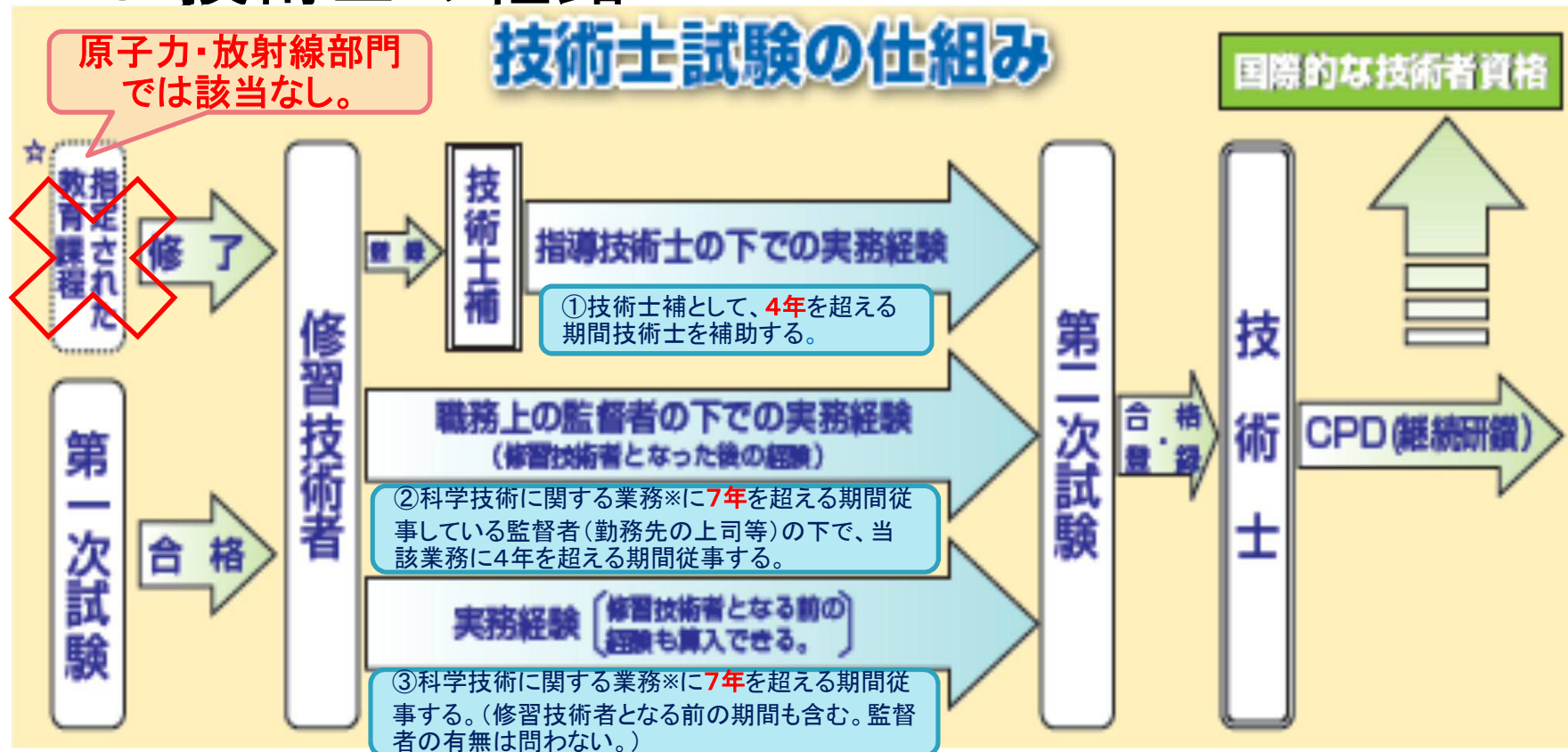
技術士補とは、「技術士となるのに必要な技能を修習するため、技術士補の名称を用いて、技術士の業務について技術士を補助する者」です。

技術士第一次試験の合格者及び指定された教育課程の修了者（修習技術者と呼称される。）が国家登録すると、技術士補となることができます。

引用) 日本技術士会「技術士試験 受験のすすめ」(平成26年3月)

http://www.engineer.or.jp/c_topics/001/attached/attach_1680_3.pdf

1.3 技術士の経路



☆指定された教育課程とは、「大学その他の教育機関における課程であって科学技術に関するもののうち、その修了が第一次試験の合格と同等であるものとして文部科学大臣が指定したもの(技術士法第31条の2第2項)」のことです。

文部科学大臣が指定した大学等の一覧は、技術士会ホームページ(<http://www.engineer.or.jp>)の[試験・登録情報]⇒[指定された教育課程の修了者について]を参照してください。⇒**原子力・放射線部門では該当なし。**

※科学技術に関する専門的応用能力を必要とする事項についての計画、研究、設計、分析、試験、評価(補助的業務を除く。)又はこれらに関する指導の業務。なお、①～③のいずれにおいても学校教育法による大学院修士課程(理科系統のものに限る。)若しくは専門職学位課程(理科系統のものに限る。)を修了し、又は博士課程(理科系統のものに限る。)に在学し、若しくは在学していた者にあつては、**2年を限度として、当該期間からその在学した期間を減じた期間**とする。また、**総合技術監理部門を受験する場合の業務経験は、①～③に示した期間に更に3年が必要。**

2.1 試験日程(1)

(1)1次試験

- ・受験申込書配布:6/1~
- ・受付期間:6/16~7/1
- ・筆記試験日:10/12

(2)2次試験

- ・受験申込書配布:4/1~
- ・受付期間:4/6~4/27
- ・筆記試験日:7/19,7/20

従来より約2週間前倒し
⇒2週間以上早めの受験準備必要

平成27年度

技術士

試験

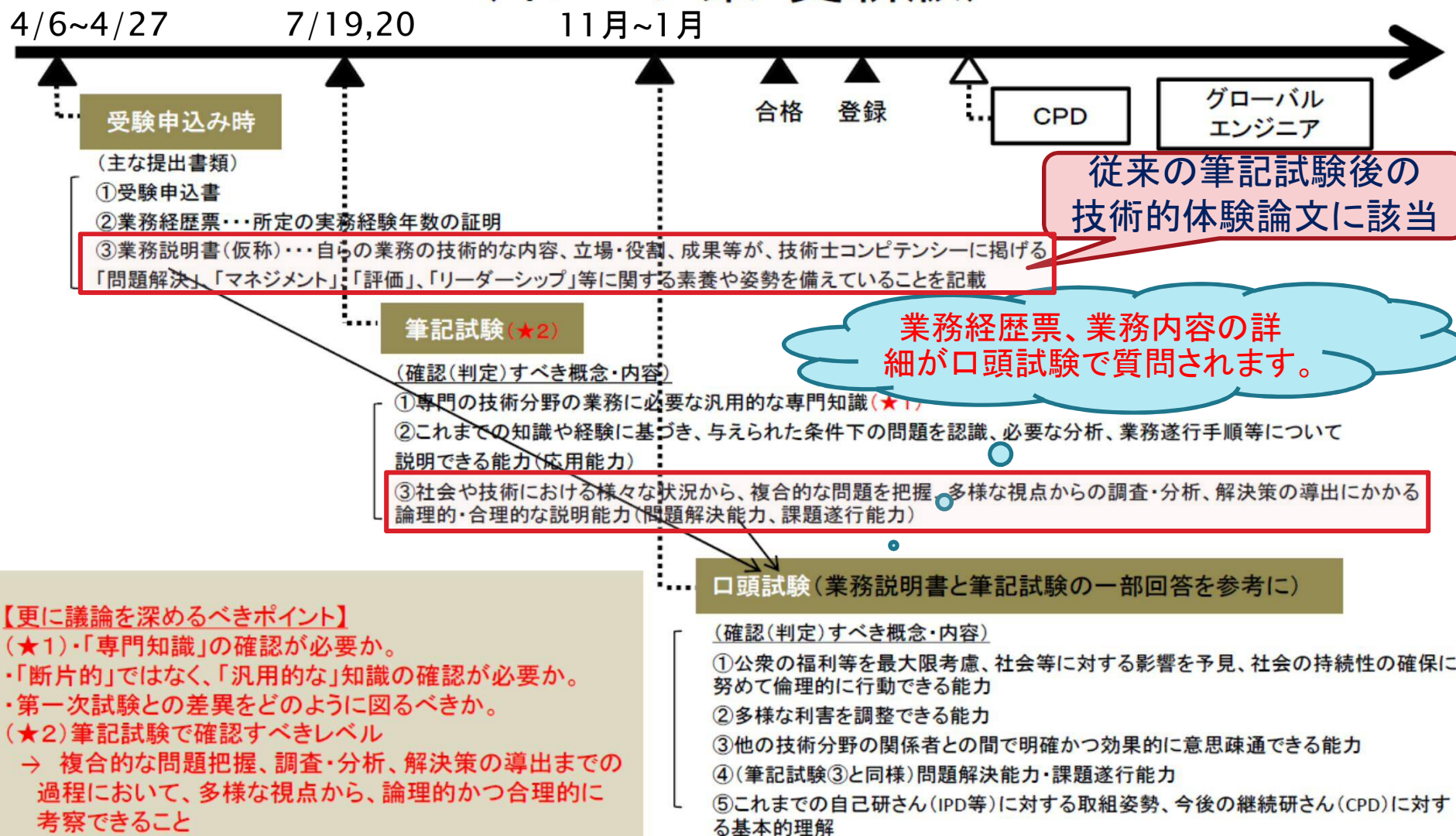
一次試験日程	二次試験日程
● 受験申込書配布 6月1日(月)から	● 受験申込書配布 4月1日(水)から
● 受付期間 *土曜、日曜を除く、但し、郵送の場合は締切日の消印まで有効。 6月16日(火)から7月1日(水)まで	● 受付期間 *土曜、日曜を除く、但し、郵送の場合は締切日の消印まで有効。 4月6日(月)から4月27日(月)まで
● 筆記試験日 10月12日(月・祝)	● 筆記試験日 7月19日(日)、7月20日(月・祝)

受験申込書請求先・試験地・その他の詳しい内容は
<http://www.engineer.or.jp/>
ホームページをご覧ください。

文部科学大臣指定試験機関
公益社団法人 日本技術士会
The Institution of Professional Engineers, Japan
〒110-0001 東京都港区虎ノ門4-1-20 田中山ビル

2.1 試験日程(2)

今後の第二次試験の在り方について (イメージ案・更新版)



2.2 第1次試験

(1) 試験方法

- ①試験は筆記により行い、**全科目択一式**とする。
- ②試験の問題の種類及び解答時間は、次のとおりとする。
- ③受験者が解答するに当たっては、電子式卓上計算機(四則演算、平方根、百分率及び数値メモリのみ有するものに限る。)等の使用は認めることができるが、ノート、書籍類等の使用は禁止する。

問題の種類	解答時間
I 基礎科目 科学技術全般にわたる基礎知識を問う問題	1時間
II 適性科目 技術士法第四章の規定の遵守に関する適性を問う問題	1時間
III 専門科目 当該技術部門に係る基礎知識及び専門知識を問う問題	2時間

(2) 配点

- ① 基礎科目 15点満点
- ② 適性科目 15点満点
- ③ 専門科目 50点満点

2.3 第2次試験(総合技術監理除く)

(総合技術監理部門を除く技術部門)

(1) 筆記試験

① 必須科目は**択一式**により、選択科目は記述式により行う。

② 筆記試験の問題の種類及び解答時間は、右のとおりとする。

③ 受験者が解答するに当たっては、電子式卓上計算機(四則演算、平方根、百分率及び数値メモリのみ有するものに限る。)等の使用は認めることができるが、ノート、書籍類等の使用は禁止する。

問題の種類	解答時間
I 必須科目 「技術部門」全般にわたる専門知識	1時間30分
II 選択科目 「選択科目」に関する専門知識及び応用能力	2時間
III 選択科目 「選択科目」に関する課題解決能力	2時間

(2) 口頭試験

① 口頭試験は、筆記試験の合格者に対してのみ行う。

② 口頭試験は、技術士としての適格性を判定する

ことに主眼をおき、**筆記試験における答案**(総合技術監理部門を除く技術部門については、課題解決能力を問うもの)及び**業務経歴**を踏まえ実施するものとし、筆記試験の繰り返しにならないように留意する。

③ 試問事項及び試問時間は、右のとおりとする。なお、試問時間を10分程度延長することを可能とするなど受験者の能力を十分確認できるよう留意する。

(総合技術監理部門を除く技術部門)

試問事項	試問時間
I 受験者の技術的体験を中心とする経歴の内容及び応用能力	20分
II 技術士としての適格性及び一般的知識	

(3) 配点

① 筆記試験(右)

I 必須科目	30点満点	[40点 40点
II 選択科目	80点満点	
III 選択科目		

② 口頭試験(右)

1. 経歴及び応用能力	60点満点
2. 技術者倫理	20点満点
3. 技術士制度の認識その他	20点満点

2.4 試験合否判定基準

平成27年1月28日
文部科学省

平成27年度技術士試験合否決定基準

平成27年度技術士試験の合否決定基準は、次のとおりとする。

I 第一次試験

試験科目	合否決定基準
基礎科目	50%以上の得点
適性科目	50%以上の得点
専門科目	50%以上の得点

1次試験は、正解100%の人も正解50%の人も修習技術者

効率的に合格するには？

2次試験は、正解100%の人も正解60%の人も技術士

II 第二次試験

1. 筆記試験

技術部門	試験科目	問題の種類等	合否決定基準
総合技術監理部門を除く技術部門	必須科目	「技術部門」全般にわたる専門知識	60%以上の得点
	選択科目	「選択科目」に関する専門知識及び応用能力	60%以上の得点
「選択科目」に関する課題解決能力			
総合技術監理部門	必須科目	「総合技術監理部門」に関する課題解決能力及び応用能力（択一式）	60%以上の得点
		「総合技術監理部門」に関する課題解決能力及び応用能力（記述式）	
	選択科目※	「技術部門」全般にわたる専門知識	60%以上の得点
		「選択科目」に関する専門知識及び応用能力	60%以上の得点
「選択科目」に関する課題解決能力			

3. まとめ(感想)

- ・試験に“CHALLENGE”し、自己を“CHANGE”してください。それが、今後の技術者としての“CHANCE”になります。
- ・今年の試験は、従来に比べ2週間前倒しで開始されます。早めの準備が肝要です。
- ・五感を使って、時間を作ってください。歩行中でも耳は使えます。
- ・試験を受けて技術士になろうと決意し、その結果として仲間が増えることを望みます。



ご清聴ありがとうございました。

